

保小連携だより

本校 研究テーマ「人とかかわる力を育み、自ら学びに向かう子どもの育成 ～学びをつなげる保小中連携～」
【学ぶ力】に関する保育所の取り組み

①1期（4～5月）	②2期（6～8月）	③3期（9～12月）	④4期（1～3月）
<p>スタンダードから</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 探求心 周囲の環境に好奇心をもって関わり、考えたり工夫したりして遊ぶ。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の不思議さ、面白さ、美しさなどに気付いたり、感触を味わったりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 様々なことに挑戦する </div> <ul style="list-style-type: none"> ・分からないことを進んで考えたり調べたりして、繰り返し挑戦しようとする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 思考 自然と触れ合い、様々な事柄に興味・関心をもつ。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・四季折々の自然に触れ、自然の美しさや不思議さに気づき、伝え合い、共感する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> いろいろな遊びを通して、試したり、確かめたり、工夫したりする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材や用具に親しみ、工夫して遊ぶ。 ・かいたりつくったりすることを楽しみ、作ったもので遊んだり、飾ったりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 言葉・数 思ったことや感じたことを絵や言葉などで表現する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本や物語などに親しみ、イメージを広げる。 ・自分なりの思いや願いを込めて、様々な方法で自由に表現する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 生活や遊びの中で、数や図形に興味・関心をもつ。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形、文字などに興味をもち、生活や遊びの中に取り入れて楽しむ。 	<p>保育所の年間指導計画から</p> <p>②自然や身近な事物・事象に関心を持ち、生活や遊びに取り入れ、試したり、調べたりする。</p>  <p>①身近な動植物に関心を持ち、いたわったり大切に世話をしたりする。</p> <p>②自然や身近な事物・事象に関心を持ち、生活や遊びに取り入れ、試したり調べたりする。</p> <p>②様々な音、形、色、肌触り、動きなどに関心を持ち、発見したり感動したりして、遊びを楽しむ。</p> <p>③自然の変化に気づき、自然物を使って様々な遊びを楽しむ。</p> <p>④自然事象や自然物と自分たちの生活との関係に気づき、関心をもつ。</p> <p>③感じたこと、想像したことを言葉や体の動き、音楽、造形などで表現したり演じたりして、様々な表現を楽しむ。</p> <p>③生活の中で使う言葉の意味が分かり、注意して聞いたり、会話を楽しんだりする。</p> <p>④生活に必要な簡単な標語や文字、言葉などに興味や関心をもつ。</p>	<p>年長児の実態（4～7月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の園庭や周りの草花を見たり摘んだりして、自然に触れることを楽しんでいる。 ・種から育てる野菜がどのように育っていくのか不思議に思ったり、興味関心をもったりして、栽培している。 ・進んで身近な自然や生き物にかかわる子どもが多い。反面、自然事象への気づきが弱い子や生き物への興味・関心が弱い子もいる。 ・子どもたちの経験の偏りが見られ、保育所での生活の中でも経験の差が見られる。 <p>・保育所で飼っているウサギに触れたり、世話をしたりしている。</p> <p>・アサガオや季節の野菜の水やりをしたり、収穫することに興味をもったりしている。</p> <p>・散歩をする中で、保育所の周りの自然に触れ、草花を見たり摘んだりして楽しんでいる。</p> <p>・自然物を折り紙で折ったり飾ったりすることを楽しんでいる。</p> <p>・絵本の読み聞かせを楽しみ、保育者や友だちと絵本の世界の感動を共有し、心を通わせている。しかし、途中で自分の思いを口々に言うので進まない時もある。</p> <p>・経験したことを描いて表現している。中には、どう描いたらいいか分からない子がいる。</p> <p>・季節の歌を歌ったり、鼓笛の練習をしたりすることに興味をもち楽しんでいる。</p> <p>・自分の思いを言葉で表現することが苦手な子どもや人の話を注意深く聞くことが難しい子どもがいる。</p> <p>・給食の献立表のメニューを自分で読みたい子どもは、文字を教えてもらいながら読んでいます。</p>	<p>具体的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の中で、実際に田んぼや畑を見たり、天気について話題にしたりして関心をもたせる。天気については、雲の動きや雨、雷など子どもの気づきをもとに関心をもてるような声かけをする。また、図鑑や絵本で調べたり、調べたことを友だちに知らせたりして、みんなで自然についての話題を共有できるようにする。 ・子どもたちが気づいたことに対して共感しながら、気づきを友だち同士で伝え合えるようにする。 ・クラス全体で感動を共有する場を設け、友だちとのつながりや一体感を高めていくようにする。 ・その時期に応じた季節感のある遊びを取り入れるようにする。 <p>・当番の子がキャベツやニンジンの皮などをもってきて、交代で責任をもって世話をするようにする。子どもたちにいたわりの気持ちが育つように保育者自身が愛情をもったかわりを心掛ける。</p> <p>・各自でアサガオの種を植え、朝登所したあと、水やりをする。</p> <p>・季節の野菜を目に見える場所に植え、水やりをしたり収穫を楽しんだりする中で、感謝の気持ちを育む。</p> <p>・春には、カラスノエンドウで笛を作ったりヨモギを摘んでヨモギ餅を作ったりする。秋には、ドングリやマツボックリなどの実を拾い、リースを作ったりする。</p> <p>・季節の草花を子ども達と一緒に摘んだり、実をちぎったり拾ったりして遊びを楽しむ。秋には草花や木の実などで毛糸を染め、自然の色に感動したり、においをかいでみたりして、興味をもつことができるようにする。年明けには、染めた毛糸を使って、じっくりと編み物を楽しみ、出来上がったポシェットを使って楽しむ。</p> <p>・絵本を読み終わった後、自分の思いをみんなの前で話すようにする。</p> <p>・絵を描く機会を多く作り、出来栄にこだわらず自分の思いを出せるように声かけをする。</p> <p>・いろいろな経験をする中で、個々のよさを認めて自信をもたせるようにする。</p> <p>・鼓笛については、毎日の積み重ねにより、演奏する態度を身に付けたり友だちと気持ちを合わせて演奏する喜びを知ることができるようにする。</p> <p>・子どもの思いを保育者自身がしっかりと聞き、共感していくようにする。</p> <p>・言葉を理解することができにくい子どもについては、個別に分かりやすく話をする。</p> <p>・今は何をやる時間かを伝えるようにする。</p> <p>・正月には、年賀状を書いたり、カルタ・トランプなどを楽しんだりしながら、言葉や文字・数などに興味をもつことができるようにする。</p> <p>・発表会の劇遊びでは、絵本の話から表現して遊ぶ中で、言葉の面白さを感じたり、物語の世界を楽しんだりすることができるようにする。</p> <p>・お店ごっこを通して、お店屋さん、お客さんになり、言葉でのやり取りを楽しむ。</p>